

平成26年度

学校だより

第34号

2015年 1月17日

ヒューストン日本語補習校

第5回クラス委員会

今年度もあと8回ほどの授業日を残すところとなりましたが、これまで本校教育活動の充実のために、PTAの皆様方からは多大なご支援、ご協力をいただきてまいりました。役員、クラス委員の皆様をはじめとしまして、保護者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

1月10日には、第5回クラス委員会が行われ、学年末の動きを確認し合いました。この中では、「PTA連絡網のための転入生の連絡先の確認方法」の新たなシステムが示され、確認しました。

(詳細は今日発行のPTAだよりをご覧ください)

【PTA連絡網整備のための連絡先確認新システム】

- ・転入面接時にPTA連絡網作成に必要な情報開示(PTA役員及びクラス委員へ)の承諾書に記入・署名をいただいた後、学校(事務)からクラス委員へ連絡先を伝えるシステム



第5回クラス委員会

学校生活あれこれ



2A 今年の抱負



1A 「冬のこぼれ」カルタ

—生徒作文から—

鍋焼きうどん

中学部2年 保田南菜

体調が悪くなったり、かぜをひいたりした時、必ず食べたくなる物がある。

それは「鍋焼きうどん」だ。

鍋焼きうどん、というと、寒くなると食べたくなる冬の食べ物と思う人がほとんどだと思うが、私は真夏の暑い時でもかぜをひいたり、体調が良くない時には、母にお願いして鍋焼きうどんを作ってもらおう。熱が出て食欲がない時でもこの鍋焼きうどんならペロッと食べてしまうから不思議だ。

うどんは普段でも好きで、夏なら冷たい冷やしたぬきうどんや、寒い日ならカレーうどんもよく作ってもらおう。けれど、熱が出た時には絶対に鍋焼きうどんではなくてはならない。

家には日本から持って来た一人用の小さな土鍋があるので、部屋で寝ている私用に家族の食事とは別に持ってきてくれる。お腹にやさしいように、また寝ながらでも食べやすいように、はしで簡単にプツンと切れるほど柔らかく煮てあるし、味もうどんによく染みていておいしい、大好きなかまぼこも必ず入っている。そして、これを食べると、次の日にはなぜだかかぜも良くなる。

母に聞いてみたところ、私は幼稚園に入る前の頃からおかゆが嫌いで食べられなかったので、熱を出してあまり食欲が無い時には、必ず鍋焼きうどんを作ってくれていたそうだ。

昨年、大事なリージョンのコンテストの日にも熱を出してしまい、もちろんこの鍋焼きうどんを食べて次の日のテストへ向かった。

私にとって母の作る鍋焼きうどんは、体調も治す一番の薬にもなっている。

(「食べ物にまつわるエッセイ集」 中二作品集より)

ヒューストン美術館

中学部 1年 木村 瑠

美術館は美術品を見に行く場所です。でも、今回私たちは、なかなか見る事ができない保存修復部を見学しました。ヒューストン美術館には今五百人の人々が働いていて、保存修復部で二十名のスペシャリスト、コンサーヴァターが働いています。

コンサーヴァターの主な仕事は、破損や劣化が始まった美術品の修復や劣化を防ぐための保全、美術品のかん定、学生、社会人、美術館職員への教育、そして調査や研究があります。調査や研究も劣化のメカニズムの解明とか

仕事に直接役立つ研究が多いようです。

コンサヴァターは、美術品を修復するために色々な道具や材料を使います。修復に使う材料の多くはコンサヴァターが全て最初から作り上げます。これは美術館が修復しなくてはいけない美術品のほとんどは古いものが多く、今は使われていない材料で出来ているためです。

私がコンサヴァターの話聞いて疑問に思った事は、コンサヴァターの人達は美術品をどこまで修理するのか、そして修理の方針はどのようにして決めるかという事です。

例えば、避けた絵やペイントが少しはげてきた時の修理は簡単かもしれません。しかし、絵の劣化が激しく、絵の表面をたくさん修復しなくてはいけなくなった時、その絵が元の作者の絵ではなくなってしまうのではないのでしょうか？見る人が分からないくらい上手に直したら、元の作者の絵ではなくなってしまうと思います。コンサヴァターが一つの絵をたくさん修復しなくてはいけない時、どこまで修復するのでしょうか？美術品を直さないという事もあるのでしょうか？

今回の美術館訪問では美術品の修復や保全について多くのことを学びました。美術品を直す側から見る事によって、美術品を直すことの難しさについて更なる疑問がわきました。（「ヒューストン美術館見学記」より）

ヒューストン美術館見学

中学部1年 岩崎小晴

今日はヒューストン美術館に見学に行きました。

美術館には約五百人が働いていて、その中に六種のラボラトリーがあり、二十名のスペシャリストが働いているそうです。

作品の修復は、絵画、紙、彫刻、調度品、写真などで、写真の修復のスペシャリストの小関さんにお話をうかがいました。紙、写真の修復をする部屋には、エレファントトランクというゾウの鼻の形をしたいやな臭いを消臭する機械があります。

また、窓も工夫されており、太陽光があまり入らない北側にあり、電気も家の電気と違い、五百ワットの電球を使っているそうです。

絵や写真を修復するための物にも工夫があります。例えばのりはお店で売っているものだとケミカルが入っているためよくないので、のりも一から作るそうです。

和紙は修復するためによく使われるそうで、和紙をくっつけるためにはけが使われます。裏打ちするために三種類のはけが使われており、打ちばけ、水ばけ、のりばけといいます。水ばけは、たぬきの毛で作られているそうです。

他に修理するために必要なものは、ざるみたいな形のほけ、塗るための筆、へらです。

小関さんは部屋にあった三種類の機械の説明をしてくださいました。蛍光X線元素分析装置、分光測色計、顕微鏡です。

分光測色計は、紙を間にはさむとコンピューターにつながっていてグラフで表示され、色を正確に判断できる機械です。四百が多かったら緑っぽい色、七百

が多かったら赤っぽい色だそうです。

顕微鏡は十五倍にすると紙の細かいせんいや破れた所がはっきり見えます。これらを使って修復します。

紙や写真をきれいにするには二種類あり、パウダーを使って消しゴムか手袋でこすり、表面をきれいにするドライクリーニングと水を使ってきれいにするウェットクリーニングがあります。

私達はグループに分かれ、めがねをかけて写真観察をしました。ガラスに写っている写真は古いもので、バックランドを見るとその時代がどの時代かがよく分かります。

私は今まで美術館はあまり好きではありませんでした。今回は小関さんにいろいろお話を聞き、裏ではこのように昔のものを修復したりしているのを知り、おもしろくなりました。

（「ヒューストン美術館見学記」より）

◆パトロール当番予定表 1月24日◆

これは 1月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	小4	1 7 ユナ ジェイク
			2 1 8 野田 優綺
			3 1 9 浅川 侑士
			4 2 0 ミトラ 海
			5 2 2 木内 柚綺
			6 2 3 メイバー 愛彩
			7 2 4 戸田 康太
★PM1	リーダー	小4	2 5 種井 健太
			2 2 6 甲斐 律気
			3 2 8 森 千紘
			4 2 9 真鍋 舞桜
			5 3 0 宇津澤 元
			6 3 1 谷 陽友
			7 3 2 西願寺 美里

【今後の予定】

- 1/17 餅つき大会
- 1/24 入園入学面接
- 1/31 学習参観(小1, 3, 5B, 中1, 3) 第3回漢字検定
- 2/7 学習参観(幼, 小2, 4, 5A, 6, 中2, 高)

学籍

転出 小3A ミューザス コーディ

転入 幼苗 我妻夏希、幼苗 田中智貴、小2B 秋本真歩、小2C 水野混太
小4A 水野珠太、小4B 田中翔子

在籍数 (1月17日現在) 451名

幼42名 小308名 中70名 高31名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

(文責 : 校長 山崎弘光)